

KIKAIYA

TOOLS PRO SHOP KIKAIYA

取扱説明書

エアー式油圧ポンプ

(共通)

品番: 2.5L (AYP-05)

品番: 5.5L (AYP-15)

この度は、KIKAIYA「エアー式油圧ポンプ」をお買い上げいただき誠にありがとうございます

- * 本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しく組立て安全にご使用ください
- * 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください
- * 本書は 2.5L/5.5L(共通)の説明書となっております



2.5L (AYP-05)



5.5L (AYP-15)

コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3

(M A I L) info@kikaiya.com

「ご注意」

適切な取り扱いで本機の性能を十分発揮させ安全な作業をしていただく為、ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してからご使用ください。

本機を本来の使用用途以外の目的では使わないでください。(本製品の改造はしないでください)

本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。

安全上の注意や製品仕様などは改良の為、予告なく変更される場合があります。そのため、お客様が購入された製品と取扱説明書に記載された内容が一部異なる場合がありますのでご了承下さい。

■開封時

商品が届きましたら、ただちに開封し次の項目を確認してください。

- ✓ ご注文商品と仕様に違いがないか。
- ✓ 本体に不備・異常がないか。

万一不具合(パーツ品の欠品、破損、動作不良等)が発見された場合は、すぐに販売店へご連絡ください。

※商品は到着しましたら7日以内に必ず開封して中身/動作をご確認ください

(本書記載内容は、改良のため予告なく変更する事があります)

■調査及び修理をご依頼の前に

* 故障とお考えの前に、弊社までご相談ください。

改造により故障及び損傷した場合は修理対応できませんのでご注意ください。

* 調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

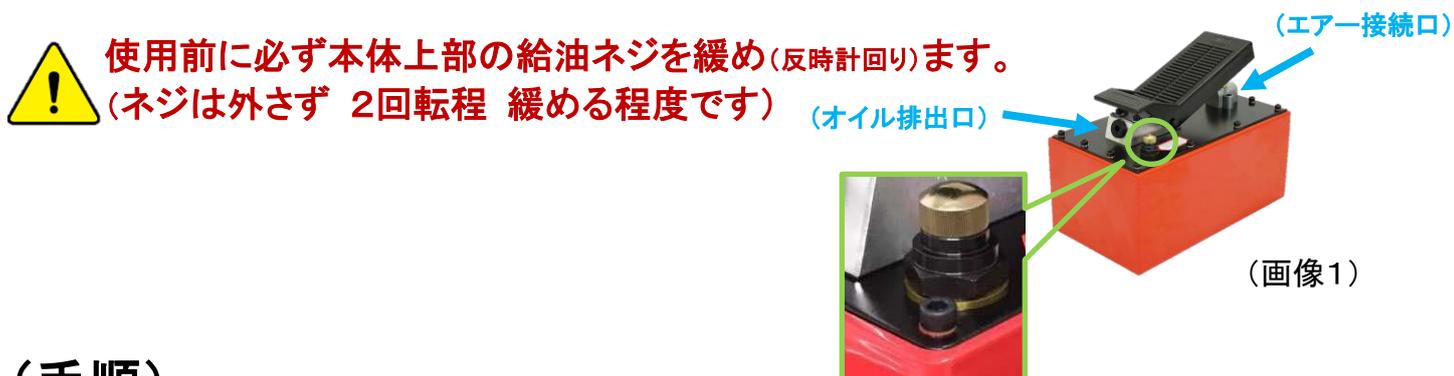
安全・使用上の注意事項

- ご使用前には本体に破損(割れや亀裂)がないか確認をしてからご使用ください。
- 使用中に破損が見受けられた場合はすぐに使用を中止してください。
- お子様の手が触れない場所で使用や保管をしてください。
- 作業に適した服装(安全メガネ・ヘルメット・手袋・安全靴等)でご使用ください。
- 耐荷重以上の荷重をかけないでください。
- 防水仕様ではございません。濡れないようにしてください。
- 必ず手動(足)により操作を行ってください。
- 荷重から離れて安全な位置で操作してください。
- 使用は水平で硬い土間の上で行ってください。水平でない場所で使用するとタンク上面の空気抜きから油がこぼれたり吐出が悪くなります。また、逆さ使用は空気穴から油がこぼれたりバルブ内部を不具合にする事があります。
- 作動油は十分(7割程度)に入れて下さい。油が少ない時はエアを吸い込む事になります。
- この製品は荷重保持装置ではなく、荷重持ち上げ装置です。荷重を上げ下げした後は、常に機械的に保持する必要があります。油圧ユニットで支えられた荷重の下で作業しないでください。
- 本製品に不均等な荷重または偏った荷重をかけないでください。誤った負荷は、機器の故障や重大な人身事故に繋がる可能性があります。
- シリンダーを使用する前に、シリンダーとカプラーを慎重に点検してください。破損したカプラーまたは破損したシリンダーを接続しないでください。
- 本機を使用していない時はバルブを解放し、ホースを外し、ゴムキャップを使用してポートを回復します。
- 本機を落とさないでください。強い衝撃は故障に繋がります。
- 油圧機器をホースやカプラーを持ち上げて運んだりしないでください。
- 通常の動作温度で油圧機器を使用してください。
- 65℃以上の温度で機器を使用しないでください。過熱すると、シールが柔らかくなり、ホースの材料が弱くなり、オイル漏れやその他の機器の故障につながります。

「仕様」

モデル (品番)	最大 使用圧力	オイル タンク容量	使用エア ー圧力 (キロ)	エア ー接続口 サイズ	油圧ホース 側接続口 サイズ	オイル吐出量 (毎分)	
						無負荷時	最高圧力時
AYP-05	70Mpa	2.5L (有効油量2L)	6.5~10	1/4 (27°) メネジ	3/8 (37°) メネジ	800cc/毎分	120cc/毎分
AYP-15	70Mpa	5.5L (有効油量5L)	6.5~10	1/4 (27°) メネジ	3/8 (37°) メネジ	800cc/毎分	120cc/毎分

「使用方法」



(手順) (画像1参照)

1. オイル排出口に接続したホースを、使用するツール(油圧シリンダー等)のカップリングに接続します。
(3/8 3ブ メネジ)
2. エア-ホースを本機のエア-接続口に接続します。(1/4 メネジ)
※適切に動作させるため、エア-供給は使用エア-圧力を確認し、適切な圧力でご使用ください
3. フットペダルでポンプを作動させます。
 - ペダルの「ポンプ」側を押すと、本機 → 使用ツール(シリンダー側) にオイルが送られます。
 - ペダルの「リリース」側を押すと、使用ツール(シリンダー側) → 本機 へオイルが送られ、使用ツールの圧力が解放されます。

※本機の「ポンプ」または「リリース」の端を押すのをやめると圧力が停止して保持されます。



使用後は必ず給油ネジを締めてください
(オイル漏れの原因となります)



「メンテナンス」

必要に応じて定期的に点検・確認をしてください。

- ホースと接続部の点検をし、必要に応じて接続部を締めなおしてください。
- オイル量の確認をし、オイル量が少ない場合は補充してください。(オイル量は7割程度が適量です)
- 能力を十分に発揮する為に、年1回のオイル交換をお勧めします。

(オイル補充方法)

1. 油圧ホースを減圧し、本体から取り外します。
2. 本機の給油ネジが上を向いた状態で、給油ネジを取外します。
3. オイル(作動油)を補充します。
4. オイルがこぼれた場合はオイルを拭き取り、給油ネジを再び取付け締めます。

▶ 推奨オイル: 作動油

※製品故障につながりますので、その他のオイルは使用しないでください。

「トラブルシューティング」

症 状	原 因	方 法
加圧しても使用ツールが動かない (拡張、移動しない)	・過負荷状態 ・解放弁が閉じていない	・過負荷状態を改善する ・リリースバルブが閉じている事を確認する
加圧時、使用ツールは動くが本機 が圧力を維持しない	・過負荷状態 ・リリースバルブが閉じていない ・油圧ユニットの故障	・過負荷状態を改善する ・リリースバルブが閉じている事を確認する
リリース時に使用ツールからオイ ルが本機に戻らない (シリンダーが縮まらない)	・カプラーの機能不全、使用ツールの 損傷 ・オイルの過充填 (オイル量が多すぎる)	・他の方法で負荷を確保します。 リリースバルブを開き、ポンプとホースを減圧し、 カプラー及び使用ツールを取外してから交換し ます。 ・他の方法で負荷を固定します。 リリースバルブを開き、ポンプとホースを減圧し、 カプラー及び使用ツールを取外し、適切なレベ ルまでオイル給油ネジよりオイルを排出します
使用ツールが完全に拡張しない (シリンダーが伸びない)	・オイル量が少ない	上記症状3の手順にそって負荷を固定し、ポン プとホースを減圧し、使用ツールを取外してから 適切な液面を確保します。
十分な能力が発揮されない	・本体内に空気が閉じ込められている	使用する時は、給油ネジを緩めて本体内の空気 を逃がすようにする(使用方法参照)